

## コロナで学業継続が困難になった学生のために 専任教職員が寄付金で支援

獨協大学は5月26日、経済的に困窮する学生のため、新たに学業支援寄付事業を創設した。この事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学業の継続が困難となった学生を本学専任教職員の寄付により支援しようというもの。目標額は3千万円で、期間は2021年3月31日まで。集まった寄付金は、学生の学業継続支援のための奨学金に充てる。6月20日現在、88名から14,348,817円の寄付の申し出があり、学生に対する支援が広がっている。

## 2020年度春学期授業開始

5月25日、2020年度春学期授業を開始した。本学では、春学期の授業はすべて遠隔授業（オンライン授業等）で行う。授業形態は、オンライン会議ツールZoomやWebexを利用した「ライブ配信型」やYouTubeなどの動画共有サイトを利用した「動画配信型」、学生ポータルサイトPorTaIIや授業支援システムmanabaなどを利用した「課題提出型」など、教員によって様々である。

6月上旬に取材した学生からは「徐々に遠隔授業に慣れてきた」との感想が聞かれた。また「通学不要のため、1時限目を受講する場合も、朝食の時間を十分に取ることができ、余裕をもって授業開始を迎えることができている」「アプリを利用し、授業に関する情報を一箇所にまとめている」「長い時間パソコンの前に座るため、目や肩が疲れる。授業の多い1・2年生は大変なのではないか」などのコメントが寄せられた。

2020年度の春学期授業は8月15日（土）まで。

### 第48回学生懸賞論文 募集開始

学生懸賞論文は、昭和48年に本学創立10周年記念企画の一つとして始まり、今年で48回目を迎えます。学生の皆さんの応募をお待ちしています。詳細は、大学ホームページに掲載の「応募要項」をご確認ください。

- テーマ 自由課題（特に定めません）
- 応募締切 10月23日（金）
- 応募方法 PDFファイルを以下まで提出  
獨協大学総合企画課 学生懸賞論文係 kronbun@stf.dokkyo.ac.jp  
※メールのタイトルに「第48回学生懸賞論文応募」と明記
- 賞 最優秀賞 賞状及び副賞10万円  
優秀賞 賞状及び副賞5万円  
※応募者全員に記念品（QUOカード千円分）を贈呈
- 入選発表 本学ホームページ、大学内掲示板、「獨協大学ニュース1月号」に掲載予定。  
最優秀賞の本文を「獨協大学学報」、最優秀賞と優秀賞の要旨を本学ホームページに掲載予定。

[獨協 学生懸賞論文](#) [検索](#)

## ぶらりらいぶらり vol.96

## レポート作成にオンライン資料を活用しよう!

オンライン授業も後半に突入り、学期末のレポートが出題される頃ですね。レポートは準備が肝心。まずは作成の手順と図書館HPから使えるツールを確認しましょう。

### ●テーマを決める

何について論じるのか、まずは出題されたテーマを確認。もしテーマが広すぎる場合には、授業で学んだことを踏まえながら興味のあるテーマに絞り込んでみよう。

### ●事前調査

テーマに関する用語を調べて、概念や背景を把握しよう。「Japan Knowledge Lib」はさまざまな分野の辞書や百科事典を一度に検索できておすすめのデータベース。また入門書やハンドブックはそのテーマ全体を把握するのに便利です。8月15日までは全文試読み実施中の「Maruzen eBook Library」や「KinoDen」にアクセスして関連する本を探してみよう。

### ●構成を考える

事前調査が済んだら、レポートの構成を考えよう。どうしてそのテーマを扱うのか（問題提起）、今ある課題や事例（現状）、仮説や解決策（考察）、自分なりの考え（主張）などを箇条書きにしたら、読む人に伝わりやすい順に並べ替えてみよう。

### ●資料探し

構成が決まったら、裏付ける根拠資料を探そう。Web上で公開されている資料も多いけれど、中にはレポートに向かない不確かな情報も。図書館HPの「データベース一覧」や「オンラインブック」を使って、信頼性の高い資料を集めよう。

### ●本文の執筆

構成に沿って、調べた資料やデータで肉付けをしながら、自分の意見を書いていこう。自分の意見と、それを書くために参考にした「他の人の意見」は明確に区別して。参考にした文献を参考文献としてリストを文末に付けよう。

### ●仕上げ

レポートが完成したら、誤字脱字はないか、指定された形式（書式）になっているか見直して、いざ提出。

資料探しやデータベースの使い方に困ったら、蔵書検索（OPAC）の「MyLibrary」の中の「オンラインレファレンス」で相談することができます。※データベースやオンラインブックの学外からの利用にはVPN接続が必要です。